おんがく広場 第134号
令和3年(2021) 6月29日(火)
発行・クッキー会 発行責任者・加藤良一
Facebook,Twitterにも掲載／リンクフリー／御自由にコピーして下さい 令和2年(2020)4月10日創刊 連絡先 rkato@max.hi-ho.ne.jp

自治体で異なる感染対策
ガイドラインを使って自分で考えよう！
全日本合唱連盟ガイドライン第3版 解説セミナー

6月28日、YouTubeで全日本合唱連盟ガイドライン第3版の解説オンラインセミナーが行われました。

パネリストは「**合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン第3版**」策定に携わった**加藤英明**(ガイドライン監修・横浜市立大学附属病院感染制御部部長)、**戸ノ下達也**(ガイドライン作成委員会・全日本合唱連盟監事)、**三好草平**(同委員会・東京都合唱連盟事務局長)の三方。事前に受け付けた質問には、最後にまとめて回答しました。

はじめに加藤英明さんより、新型コロナウイルス感染症について、現時点の国内外の状況説明が30分ほどありました。変異株の問題については、日本国内でも出現しうるので、海外の状況だけを見ていてはいけない、ワクチンに期待するところは大きいが、接種しても感染するケースもある。マスクによるガードを基本とし、いかに感染者をステージに入れないかを考えるべきと解説されました。

戸ノ下達也さんからは、ガイドライン策定の主旨について10分ほど説明がありまた。ガイドラインは18頁にも及ぶため、長すぎるとの声もありますが、やはり作成の背景になっている、政府の考え方や業種別のガイドライン、さらに各種の科学的検証結果などを基にして策定されていることを明らかにするため、あえて記載しており、理解してほしいとのこと。

ガイドラインは全能ではない！

ガイドラインはすべての場面で使えるものではなく、全能ではありません。規定として書くことは簡単だが、書けば実際にはそれ以上のことが求められるとのこと。規制は各自治体が行うもので、従って施設ごとに対策が異なっているのが現状です。それぞれのルールに合わせて「**自分で考える**」ことが重要と強調しました。

1枚の山台に3人乗って歌える日が…

三好草平さんは、ガイドラインや科学的検証を踏まえて、では実際の舞台の上でどのように感染対策をすればよいかを検討したと説明がありました。連盟の基本的立場は「**合唱をするための組織**」として、ギリギリのところまで開催の手段を考えること。万一、ウイルスが紛れ込んでも広がらない工夫をすること。マスク使用の問題は、各自治体の判断にもよる。更衣室やリハーサル室を使わなくするのは、誘導経路をシンプルにするため。新型コロナウイルス感染症が始まって時間が経ち、慣れっこになっていないか。感染防止の基本を忘れないでほしいと発言されました。

プロとアマチュアのちがい…

大きなホールでは一般に15分に１回程度の換気回数があり、ホールによっては舞台と客席の換気システムが分かれているところもあり、総じて換気状態は良好です。

演劇等でマスク無しで公演することがありますが、それは出演者や関係者が事前の体調管理や感染の有無を確認し、すべて安全な状態で本番に臨んでいるから可能なのであって、アマチュアの合唱団ではそうはいかないといいます。確かに、普通はメンバー個々の感染状況を把握することなどできません。また、感染者が出た時の対応として、責任者を決めてメンバーの体調をきちんと把握し、万一感染が起きた場合の保健所との対応がスムーズにできるようにしておく必要があります。

Q & A

Q：ワクチン接種が進んできたら、ガイドラインはどうなるか
A：連盟から何か言えることではない。
Q：ワクチン接種のメリットデメリットはどうか？
A：副反応を心配する声があるが、ファイザーとモデルナ製については、打ってはいけない人はほとんどいない。前向きに考えてよい。
Q：大規模の演奏会開催についてはどうか？
A：合唱連盟以前に政府から出されている規定があり、まだ大人数での演奏は厳しい状況にある。出演者と観客の人数は、各施設の規定との絡みがあるので、具体的なことをいうのは難しい。

『男声合唱は、いま！ 多田武彦先生追悼集』
アマゾンオンデマンドより出版！ 加藤良一著

本書は、2017年ご逝去された作曲家・**多田武彦**先生のご業績を偲ぶとともに、全国各地の男声合唱大会を総括し、現在の男声合唱に関するガイドブックを目指しました。

『**多田武彦＜公認サイト＞**』の紹介及び多田先生の著作も併せて収載しました。「**全国主要男声合唱大会総覧**」は、現代日本の男声合唱の全体像が見渡せます。また、コロナ禍で大打撃を受けた音楽芸術分野に向け、筆者が始めた情報紙『**おんがく広場**』や**千葉敏行**先生が運営するfacebook公開グループ『**ポストコロナの合唱活動を考える**』も紹介しています。

この本一冊で、現在の日本の男声合唱事情が見渡せるのではないでしょうか。185頁にもなってしまったため価格が税込み1980円(送料無料)とやや高めかも知れません。お手に取って頂けるとありがたいです。